

はじめに

第2回日本-中国-韓国医療器械発展協議会が、中国医療器械行業協会(CAMDI)及び韓国医療機器工業協同組合(KMDICA)と日程や情報交換項目についての調整が取れ、2005年11月1日に中国成都市にて開催されることになり、JIRA 国際部会代表団が訪中した。同時に、北京にて在中国日本大使館の西川一等書記官と中国における医療機器に関する情報交換を行った。中国衛生部国際交流センター(MOH)及び中国食品薬品監督管理局(SFDA)を表敬訪問すると共に、成都市で開催される中国医療器械大博覧会の視察を行った。

1. 西川一等書記官とのミーティング

JIRA 国際部会中国訪問団は中国大使館西川一等書記官と面談し、中国の医療機器に関する情報交換を行った。西川一等書記官とは今後も医療機器に関する情報交換を継続し、情報の有効活用を行うと共に、必要に応じて中国行政に対するサポートを今後お願いしていきたい。

2. 中国国家衛生部国際交流合作センター(MOH)訪問 (10月31日)

中国衛生部国際交流合作センター日本事業部を訪問し、劉日本事業部長と面談した。面談を通じJIRA との交流は非常に良好な関係が継続されている。衛生部国際交流合作センターから医機連との関係改善へのサポートをJIRA に要請されたので、JIRA も協力する旨約束した。



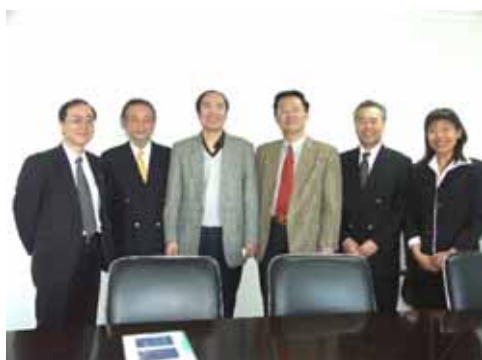
JIRA & MOH 交流風景



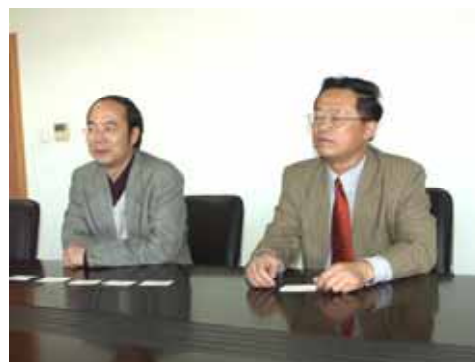
JIRA & MOH 交流記念(前例右 劉部長)

3. 中国国家食品薬品監督管理局(SFDA)訪問 (10月31日)

中国 SFDA と JIRA とは非常に良好な交流関係が継続されていることが確認できた。今回新たに就任された王司長代行、常副司長とも面談ができ、JIRA 国際部会は今後もこの良好な関係を継続していく。



JIRA & SFDA 交流記念



王 司長代行 常 副司長

4. 第2回日本-中国-韓国医療器械発展協議会 (11月01日)

4-1.出席者：

(1)中国医療器械行業協會(CAMDI)：

Dr. Jiang Feng (会長) Mr. Xiang Ying(秘書官)、Mr. Chi、 Ms. Fang

(2)韓国医療機器工業協同組合(KMDICA)：

Mr. Moon (会長) Mr. Byung Chul, Ahn (事業チーム長) Ms. H.Y.Chae (通訳)

(3)日本画像医療システム工業界(JIRA)：

和迎 副会長、石川 国際部会長、軸丸 国際部会副部会長、揚 (通訳)

4-2.中国 CAMDI からの主な提供情報

(1)中国の医療機器の生産高 9.38 Billion USD (2004年度)

(2)中国の医療機器に関する法律がまだ十分整備できていないことと、医療機器市場環境が未成熟であることが課題点としてあげられる。

(3)2006年度中に医療器械の流通に関する法令と生物製薬に関する法令の2種類の法規が制定される見込みである。

(4)CAMDIは2006年度にはGHTFに参画したいとの意向である。

4-3.韓国 KMDICA からの主な提供情報

(1)韓国の医療機器製造業者と輸入業者数(2004年度)：

製造業者数：1,668社

輸入業者数：1,122社

(2)2004年度の韓国国内市場の伸張率：112.1%(2003年度比)

(3)韓国への輸入機器市場データ(2004年度)

MRI 診断装置 : 48 million USD

X-Ray 撮影装置 : 75 million USD

US 診断装置 : 33 million USD

4-4.この会議への参画によって、中国及び韓国の医療機器市場情報の入手ができた。本協議会(会議)は特に、中国側からの強い要望もあり、今後も可能な限り継続して参画を検討していきたい。



Mr. Wani Mr. Jiang Mr. Moon



KMDICA Mr. Ann 説明の様子

5. 第54回 中国国際医療器械秋季博覧会

5-1. 第1回 中国国際医療器械設計興製造技術展覧会 & 検討会 が併設開催されていた。

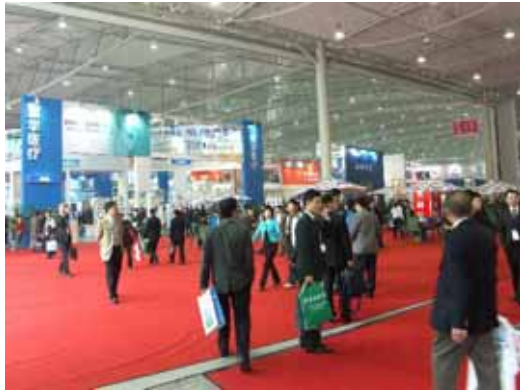
(1) 展示期間：2005年 11月 01日～05日

(2) 展示会場：New International Convention & Exposition Center, Chengdu

(3) 入場者数（推定）：約 150,000人

(4) 出展企業数：1,000社以上

(5) 次回春季の展示会は深川市で開催することが決定しているが、次回秋季の展示会場所は未定。



展示会場内部の様子



展示会場前の万国旗

5-2. 第54回 中国国際医療器械秋季博覧会を視察し、本展示会が中国最大の医療機器展示会であることが実感できた。今後も本展示会へは視察ツアー立案も含め注目していきたい。

おわりに

JIRA 国際部会代表団は中国大使館西川一等書記官と今後も医療機器に関する情報交換を継続し、情報の有効活用を行うことを約束するとともに、必要に応じて中国行政に対するサポートをお願いしていきたい。

中国衛生部国際交流合作センター(MOH)とJIRAとの交流は非常に良好な関係が継続されていることが確認され、MOH から医機連との関係改善へのサポートを要請されたので、JIRA も協力する旨約束した。

中国国家食品薬品监督管理局(SFDA)とJIRAとは良好な交流関係が継続されているとの評価を頂いたが、今回は新たに就任された王司長代行、常副司長とも面談ができ、非常に満足している。

成都市で開催された第2回日本-中国-韓国医療器械発展協議会への参画によって、中国、韓国の医療機器市場情報の入手ができた。本協議会(会議)には中国側からの JIRA への参加の強い要望もあり、今後も可能な限り継続して参画していきたい。

第54回 中国国際医療器械秋季博覧会(成都市)を視察し、本展示会の展示規模を改めて認識すると共に、今後も本展示会へは JIRA 視察ツアー計画の立案等を含め注目していく。

尚、今回入手した詳細情報は JIRA 会報並びに JIRA 発表会等で紹介する予定である。

以上